

# 教育改革につなげる入試改革と高大接続

～アサーティブプログラム・アサーティブ入試の事例から～

---

追手門学院大学  
教務部アサーティブ課  
志村知美

[Tomomi.Shimura.py@otemon.ac.jp](mailto:Tomomi.Shimura.py@otemon.ac.jp)

追手門学院大学  
経営学部マーケティング学科  
2回生  
牧野梨緒

追手門学院大学  
心理学部心理学科  
2回生  
木村真希

追手門学院大学  
心理学部心理学科  
1回生  
熊谷響希

# お話の内容

---

1. 追手門学院大学の概要
2. 入試改革の始まり ～アサーティブプログラムとアサーティブ入試の誕生～
3. 入試改革からの展開と課題
4. 学生のお話
5. 最後に

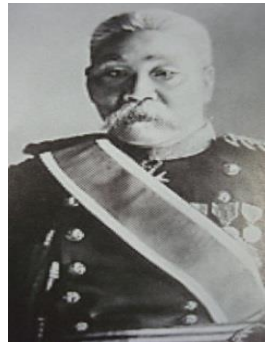
# 1. 追手門学院大学の概要

自分史上、  
想像以上!

1888年(明治21年)



設立当初(借行社小学校)



創設者  
高島鞆之助



1966年 大学開学

131年の  
歴史と伝統

2019年(令和元年)



追手門学院幼稚園  
幼保連携型認定こども園



追手門学院小学校



追手門学院  
大手前中・高等学校



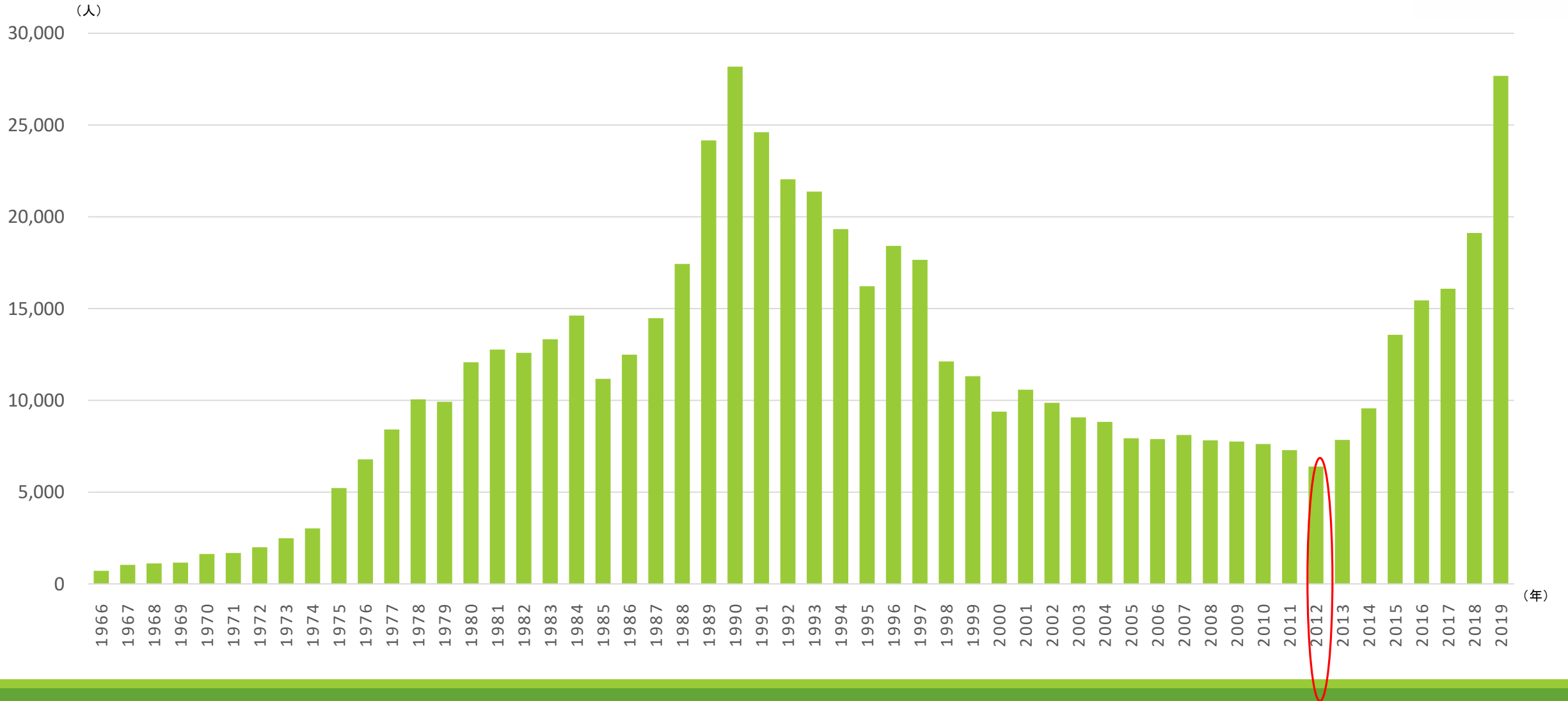
追手門学院中・高等学校



追手門学院大学・大学院

# 大学志願者数の推移

自分史上、  
想像以上!



## 2. 入試改革の始まり

自分史上、  
想像以上!



なんとなく

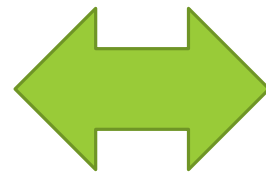
ツチノコ?

期待なし

不本意

学位購入

三者面談



「自分のような学生を  
増やさないで」



学生たちの本音

<仮説>

この気持ちを変えなければ、大学での学びの姿勢は変わらない

# 衝撃的だった学生の実態

- ◆ 入学者のうち、**第一志望**が1～2割
- ◆ 関関同立、産近甲龍に入れなかったという**「不本意」**入学者の多さ
  - ⇒偏差値偏重の弊害
- ◆ 基礎学力不足・進学目的不明確・学習意欲不足・ミスマッチ
  - ⇒大学授業の実態。初年次教育や授業改善だけでは解消できない
  - ⇒**「分厚い中間層」**が入学する大学として、基礎学力と学習意欲をバランスよく身につけ、  
生徒が主体的に自らの進路を考え決定できる仕組みの必要性。

# そこで！何を変えたかったか

## ➤ 執行部

目先の志願者増でなく、大学で学ぶ姿勢を持つ学生を数多く入学させることに変える。(偏差値やランキングでは測ることのできない大学の価値創造に視点を変える)

## ➤ 教員

大半の教員が、教えることに一層意欲が高まり、研究や社会連携、FDにも旺盛に取り組むことができるように変える。

## ➤ 職員

高校生や学生と正面から向き合って対話し、彼らの実態を知って主体性を引き出し、自らの仕事に活かすことができるように変える。

## ➤ 高校生

大学で学ぶ意味、本人の将来、何を学ぶかなどについて話し合い、その生徒にあったアドバイスをし、その生徒が主体的に自らの進路を考え、決定することができるように変える。

## ➤ 高大接続

高校と大学が、一人の生徒を挟んで、その成長を促すことができるように変える。

# 入試改革の骨子

自分史上、  
想像以上!

## 【アサーティブプログラム・アサーティブ入試の目的】

- ◆ 第一希望の入学者を増やしたい 「追手門学院大学 でいい」から「追手門学院大学 がいい」への転換

## 【受験生像の設定】

- ◆ 追手門学院大学で学びたいという気持ちを描き、その思いを伝えられる人
- ◆ 今は確かな希望や理念がなくとも、知的な事柄への興味や活動を通じ、何のために学ぶのかを問い続け、努力する人
- ◆ 高校までの基礎的な知識や技能の習得を見直し、向上しようと努力する人

## 【期待する効果】

- ◆ シラバスの活用ができる
- ◆ 講義への参加意欲の向上
- ◆ 各種活動への積極的参加



## 1. ガイダンスと本学職員との「個別面談」

オープンキャンパスも含めて年10数回のガイダンスとその際の個別面談。本学の専任職員が担当。自分を  
知り、大学で何を学びたいかを問い、自ら気づくように促す。この面談では、本学への受験を促すことはせ  
ず、本人の将来を一緒に考えるというスタンスで行っている。

## 2. 本学独自開発のシステム－MANABOSS

基礎学力の確認と向上、計画的学習を習慣づけると同時に、追手門学院大学バカロレアで、多様な観点  
から考察する力を育て、自分の意見を述べる力や他者の意見を受容する姿勢を養おうとするシステム。

『MANABOSS(マナボス)』 \*10頁を参照

## 3. 自己成長を促す「アサーティブノート」

このプログラムの結果を記録し、振り返ることで自己成長を促す。自分自身を主語にして記述する。

【言語能力問題】

- 二語関係
- 反意語/反語
- ことわざ
- 熟語
- 言葉の用法
- 文章の整序
- 漢字
- 同意語/同義語
- 慣用句
- 語句の用法
- 言葉の意味
- 敬語
- 長文読解

【非言語能力問題】

- 推論
- 表の読み取り
- 確率
- 代金の割引
- 損益算
- 速さ/時間/距離
- 物の流れと比率
- 基礎数学
- 集合
- 順列/組み合わせ
- 代金の精算
- 分割払い
- 仕事算
- グラフの領域
- 装置と回路

# MANABOSS

【トップメニュー】

基礎学力

GO

Obest英文

高校1年生レベルの  
基礎的な英文問題

GO

NGSL<sup>CC</sup>英語

高校3年生レベルの  
英単語の学習

GO

バカロレア

追手門学院

GO

英検

公益財団法人  
日本英語検定協会

GO

検定問題

開始パスワードが必要です

GO

ユーザー情報

内容変更

GO

問い合わせ

GO



【Obest英文穴埋め問題】

- 英文穴埋め20問 日文付
- 英文穴埋め20問 日文無
- 英文穴埋め20問 学習状態
- 英文穴埋め50問 日文付
- 英文穴埋め50問 日文無
- 英文穴埋め50問 学習状態

【バカロレア問題】

氏名 (テストユーザー 1)

提出状況	問題番号	問題タイトル	問題説明	提出日	提出時間
提出済	01	バカロレア問題 vol.1	あなたは今、この瞬間存在しますか。もし存・・・	2019/05/24	13:51:32
提出済	02	バカロレア問題 vol.2	鏡の中に映るあなたの像は左右が逆になって・・・	2014/10/20	10:08:03
提出済	03	バカロレア問題 vol.3	「古池や、かわず飛び込むみずの音」という・・・	2014/08/22	19:00:24
提出済	04	バカロレア問題 vol.4	「一億円をあげるか、10分の1の確率で+・・・	2014/05/28	17:44:06
提出済	05	バカロレア問題 vol.5	アメリカからインドに送られた農業用の機械・・・	2015/07/07	16:48:35
提出済	06	バカロレア問題 vol.6	野球のとあるピッチャー選手は神様から“・・・	2015/03/30	09:48:19
提出済	07	バカロレア問題 vol.7	新しいエレベーターを開発中です。どのよう・・・	2015/07/30	10:46:36
提出済	08	バカロレア問題 vol.8	とあるレストランに入り、あなたは前菜のス・・・	2015/09/08	14:57:23
提出済	09	バカロレア問題 Vol.9	「正義」とはなにか。・・・	2015/07/30	10:49:49
提出済	10	バカロレア問題 Vol.10	人はなぜ働かなければならないのでしょうか・・・	2018/12/18	11:24:29

# アサーティブ入試



## ➤1次試験 グループディスカッションと基礎学力適性検査

グループディスカッションは、1グループ5～6名で約30分の議論

主体性や協調性、論理性等を評価(職員2名による評価)

基礎学力適性検査は、MANABOSS搭載問題と同様の形式で出題(60分で40問で国語と数学)

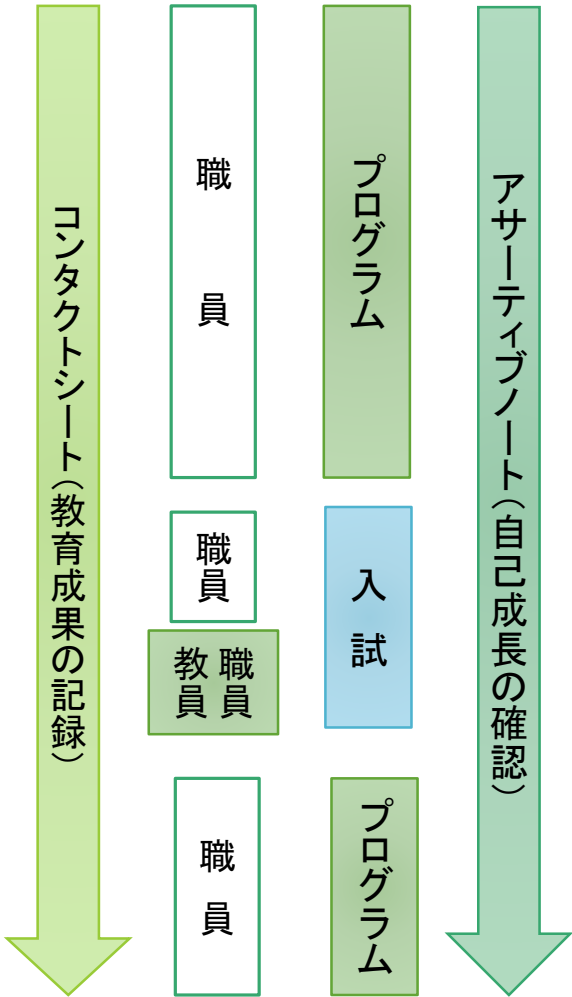
\* 2020年度入試 から英語も課し、90分で60問

それぞれが一定水準以上かどうか総合的に評価して合否を判定。

## ➤2次試験 個別面接

教員と職員がペアとなり、志望理由や学問に対する意欲や知的関心のレベル等を評価

# アサーティブプログラム・アサーティブ入試の概要



## ガイダンス

- ・ 大学と受験生の「相互理解」

## 個別面談

- ・ 高校生のスタート地点の確認と「相互選択」

主体性を育成

## MANABOSS

- ・ 基礎学力 ... 弱点克服に向けた計画的な学習を促す
- ・ 追手門学院バカロレア ... 議論する力を身につける

基礎学力の見直し

思考力・判断力・表現力を育成

## アサーティブ入試

- ・ 1次試験・・・グループディスカッション  
基礎学力適性検査
- ・ 2次試験・・・個別面接

思考力・判断力・表現力を評価

基礎学力を評価

主体性・多様性・協働性を評価

## 入学前学習

- ・ 社会との繋がりを考える

# アサーティブプログラムを受けた者の 入試出願者数、合格者数、入学者数



対象入試年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計
ガイダンス回数	18回	31回	24回	22回	30回	125回
ガイダンス参加者数	300名	777名	932名	1,014名	1,479名	4,502名
個別面談延べ人数	221名	710名	906名	978名	1,222名	4,037名
個別面談実人数	<b>190名</b>	<b>557名</b>	<b>751名</b>	<b>772名</b>	<b>991名</b>	<b>3,261名</b>

	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			合計		
	出願者数	合格者数	入学者数	出願者数	合格者数	入学者数	出願者数	合格者数	入学者数	出願者数	合格者数	入学者数	出願者数	合格者数	入学者数	出願者数	合格者数	入学者数
アサーティブA日程	91	53	52	203	89	87	261	130	130	270	137	136	414	85	85	1,239	494	490
アサーティブB日程				87	41	41	134	60	60	113	60	60	100	29	29	434	190	190
アサーティブ入試計	91	53	52	290	130	128	395	190	190	383	197	196	514	114	114	1,673	684	680
その他入試計	124	51	48	377	162	150	474	200	178	424	194	180	940	228	215	2,339	835	771
合計	215	104	<b>100</b>	667	292	<b>278</b>	869	390	<b>368</b>	807	391	<b>376</b>	1,454	342	<b>329</b>	4,012	1,519	<b>1,451</b>

\* その他入試とは、アサーティブプログラムを受けた者で、推薦入試、一般入試、センター試験利用入試等に出願した者の合計

## 【アサーティブプログラム・アサーティブ入試の目的】

# 第一希望の入学者を増やしたい は実現しました

---

### 全学の第一志望者

2011年度本学学生生活実態調査の結果

第一志望で入学した者 ⇒ 12.7%

2018年度GPS-A調査の結果

第一志望で入学した者 ⇒ 46.9%

2019年度GPS-A調査の結果

第一志望で入学した者 ⇒ 52.5%

### 3. 入試改革からの展開と課題

#### ➤アサーティブ研究センターの設立(2015年6月)

アサーティブ研究センターとベネッセ教育総合研究所との共同研究(2016年4月～)

目的:学生の学修成果と成長の可視化(アセスメント手法)の開発

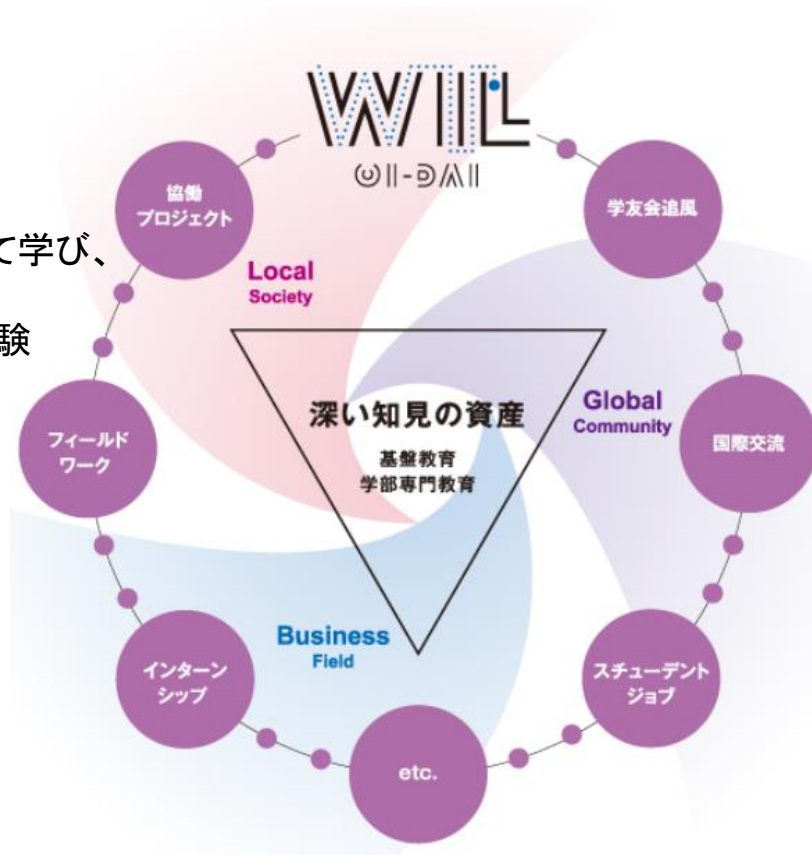
#### ➤滋賀県教育委員会との教育連携協定締結(2016年3月)

教育委員会指定5校の高等学校と高大接続プログラム(アサーティブ講演会・MANABOSSの活用など)を実施中 → 他県(京都・大阪・兵庫・沖縄・岐阜など)にも展開中。

		2016年度	2017年度	2018年度	合 計
高 校 数		4校	19校	22校	45校
対象人数	高校生	610名	2,911名	1,868名	5,389名
	教師	0	0	81名	81名
	保護者	50名	53名	203名	306名

- 単なる入試改革でなく、教育改革の一環として位置づけ、教育改革本部でのカリキュラムマップ策定、オйнаビや検定テストの導入、**WIL**の発展につなげてきたこと。

あらゆる学生が、  
あらゆる場面で行動して学び、  
学びながら行動する  
「Work=Learning」を経験



全学に広がるWILプログラムは100以上! さらに増加中!!

- 普代村村づくり支援プロジェクト
- フィールドワーク写真展The Backside of the City
- 東日本大震災被災地での聞き取り調査
- 門真市役所まちづくりワークショップ
- いこいこ未来塾協働プロジェクト
- 「いばらきバルフェスタ」学生企画プロジェクト
- ゼミでの日経STOCKリーグ参戦
- 学内合同企業懇親会
- 学生記者がゆく「キャンパるかんさい+」
- ガンバ大阪スタジアムエコ推進活動
- あおぞら財団まちづくりフィールドワーク
- 心理実践インターンシップ
- 見山の郷商品開発プロジェクト
- 伊丹市立図書館実践型インターンシップ
- 地域創造実践演習(パーマカルチャー)
- 追大グッズプランコンテスト
- 宇治市役所 × 国際日本学科キャリアデザイン論
- デートDV意識調査&啓発活動
- ユーモアスピーチコンテスト
- 入学前教育プロジェクト



## <課題>

- ◆アサーティブ生の**基礎学力向上**
- ◆アサーティブ生の**入学後プログラム**
- ◆アサーティブ面談職員のための**面談力向上プログラム**
- ◆**CBTシステム**の開発
- ◆**入試別**入学前教育プログラムの開発
- ◆学生の実態をリサーチし、**入試・教学につなぐことのできる専門職**の配置

## 4. 学生のお話 ①

---

### ◆ 受験前編

熊谷響希さんの場合

## 4. 学生のお話 ②

---

### ◆ アサーティブ課インターンシップ編

木村真希さんの場合

## 4. 学生のお話 ③

---

### ◆ アサーティブスタッフ編

牧野梨緒さんの場合

## 5. 最後に

---

- ◆ 答えは目の前の学生から
- ◆ 誰のための改革なのか
- ◆ 教員でなくても教育者

ご清聴ありがとうございました